

隊員家族の皆様へ

海上幕僚長航行指針（隊員と隊員家族編）

海上自衛隊に求められる任務が複雑・多様化している今日において、海外への派遣や計画にはない緊急な出港・発進は決して特別なことではなく、恒常的なものになりつつあり、隊員はご家族のことを気に掛けながら活動に従事することになり、この間の隊員及びご家族の抱える様々な不安や負担も以前にも増して大きくなっています。

そこで海上自衛隊では、全ての海上自衛隊員とそのご家族を一つのチーム（海自Team）としてとらえ、海自Teamと海上自衛隊が共に歩む道を海上幕僚長航行指針〈隊員と隊員家族編〉と題して以下のとおり表現し、この指針の下、隊員のご家族の不安や負担を少しでも和らげるための施策を改めて推進してまいりたいと考えております。

- ・海上自衛隊は、隊員と隊員の家族の誰一人も海自Teamに欠かせない一員と考えています。
- ・海上自衛隊は、隊員にとって隊員の家族が何よりの支えと考えています。
- ・海上自衛隊は、隊員が休みの時に大切な家族と楽しく一緒に過ごせるように応援します。
- ・海上自衛隊は、隊員の家族が隊員の仕事を誇りに思い、優しく見守ってくれることを願います。
- ・海上自衛隊は、隊員と隊員の家族を共に歩む大切な存在と考えています。
- ・海上自衛隊は、海自Teamによって精強性・即応性が支えられています。
- ・海上自衛隊は、全力で海自Teamの不安を和らげ、安心を支えます。
- ・海上自衛隊は、海自Teamが幸せになる施策を推進します



家族関連施策推進のためのキャッチフレーズ

Strong Family, Strong Fleet

「強い絆で結びつく家族によって、海上自衛隊は精強・即応となる」

隊員家族のしおり

隊員家族のしおり



海上自衛隊 岩国航空基地

目次

01

[海上自衛隊の役割](#)

02

[岩国航空基地の概要・任務](#)

03

[家族支援](#)

04

[基地への問い合わせ等](#)

05

[防衛省共済組合](#)

内容を確認するには、
ID及びパスワードが必要です。
詳細は隊員までお尋ねください。

06

委託相談事業

[ベネフィットステーション](#)

07

[各種相談ダイヤル](#)

内容を確認するには、
ID及びパスワードが必要です。
詳細は隊員までお尋ねください。

08

[岩国市の生活情報](#)

09

各種リンク

[防衛省](#)

[統合幕僚監部](#)

[海上自衛隊](#)

隊員家族の皆様へ

01

海上自衛隊の役割

わが国を取り巻く国際環境がこれまで以上に速いスピードで厳しさと不確実性を増している中、海上自衛隊は、他国からの不当な侵略を受けないよう、海と空から、毎日、24時間体制で、警戒監視と情報収集を行いわが国の領海を守っています。そして、必要な装備を整え、様々な訓練を行い、高い知識と技能を維持しています。

また、世界の国々と協力して世界の海の安全を守ることも日本の平和につながることから、海上における公共の安全と秩序を防衛するなどのために、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処活動や、中東における情報収集活動を行うとともに、同盟国である米国をはじめとした関係国との共同訓練や防衛装備・技術協力などの交流を通じて協力体制の強化に取り組んでいます。

このほか、国内外で大規模な災害などが発生した場合、人命救助、物資輸送、生活支援などの様々な災害派遣活動・国際緊急援助活動を行っています。

このように、海上自衛隊は、国内外で様々な活動を行っており、これらの活動は迅速に対応することが求められております。

自衛隊は、国民の生命・財産、日本の領土・領海・領空を守ることが主たる任務です。

国の防衛



日本周辺海域を警戒監視中のP-3C哨戒機



弾道ミサイル防衛ためのスタンダードミサイル(SM-3)

海洋安全保障の確保等



中東地域において情報収集活動する隊員



ソマリア沖・アデン湾において貨物船を護衛する護衛艦

関係国との協力



米・豪・加との共同訓練

災害派遣



瓦礫などの撤去作業

国際緊急援助活動



孤立住民の救助活動



医療物資などの輸送

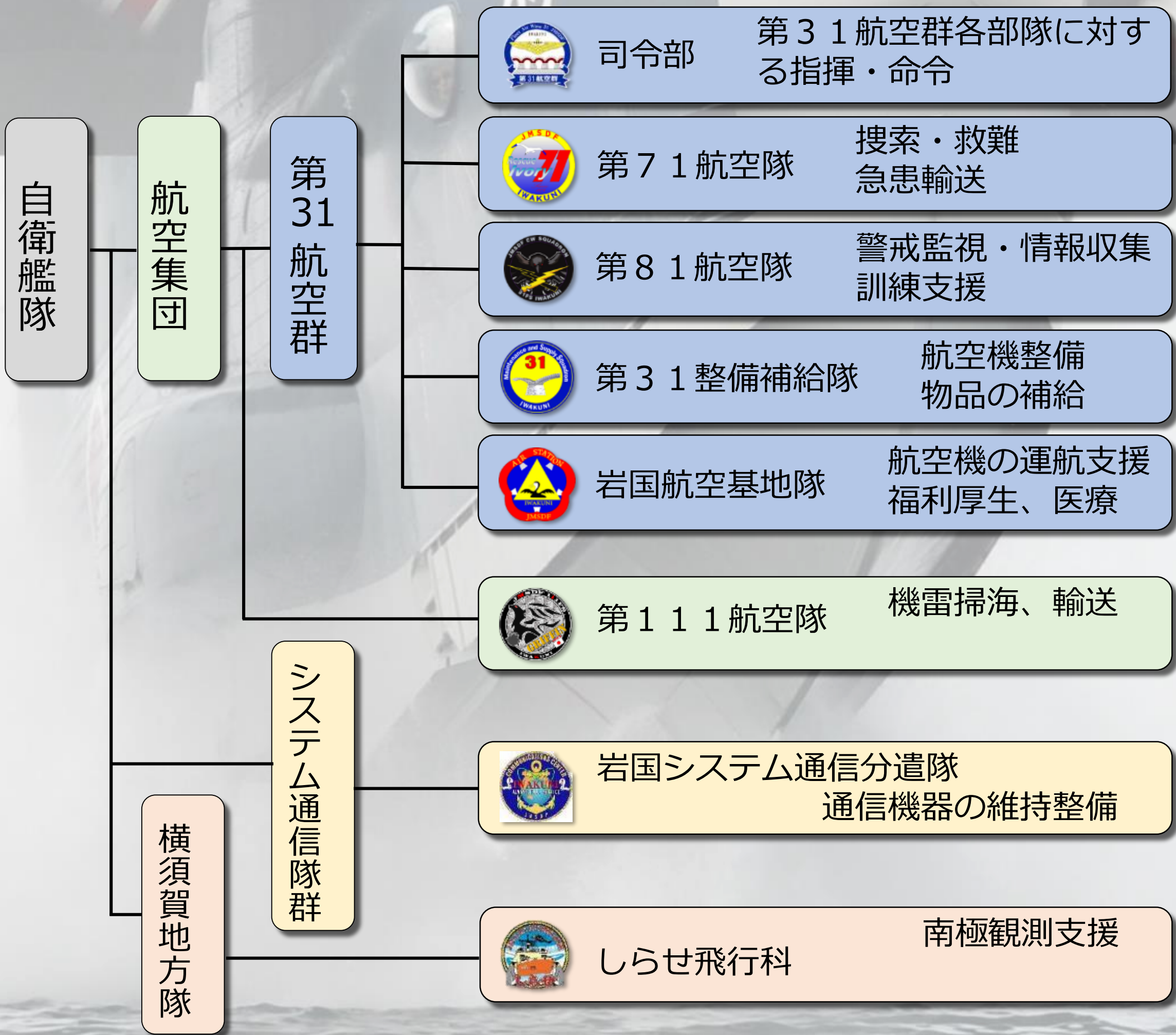
隊員家族の皆様へ

02

岩国航空基地の概要・任務

岩国航空基地は、昭和15年7月に旧日本海軍の航空基地として開設されました。終戦後は米海兵隊に接收され、昭和26年9月の日米安全保障条約の締結をもって在日米軍基地となり、以降基地の管理は米軍が担っています。海上自衛隊は、昭和32年から基地の共同使用を開始し、数回の部隊改編を経て現在に至っております。基地の中には、さまざまな海上自衛隊の部隊が所在し、それぞれの部隊で勤務しています。

岩国航空基地所在部隊



海上自衛隊の家族支援とは？

海上自衛隊が任務を達成するためには、次の事項が大切です。

海上自衛隊組織として

隊員が安心して任務にまい進できる環境を提供することは、円滑な部隊運用に直結するためとても重要です。

隊員は、**家族が**健康で穏やかに生活でき、また**自分を応援してくれる（支えてくれる）**ことで、**安心して任務にまい進することができます。**

行ってきます。
今日も頑張るぞ！



行ってらっしゃい

がんばってね！



「家族支援」とは
前述の事項を考慮した次のような取組です。

- ・ 隊員が任務によって不在になっても家族が安心して生活できるようにする取組
- ・ 海上自衛隊の任務や隊員の使命を家族が理解し海上自衛隊を信頼してもらうための取組

家族支援

(1) 隊員及び家族が安心して生活できるようにする取組

留守家族名簿の整備

留守家族名簿					
認識番号		〇〇〇〇〇〇			
氏 名		海上 太郎			
所属部隊		海上幕僚監部人事教育部			
生年月日		H 8, 6, 1 8			
都道府県		〇〇〇〇〇〇	電話番号	〇〇〇〇〇〇	
市町村番地		〇〇〇〇〇〇	メールアドレス	〇〇〇〇〇〇	
マンション・アパート名		〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	
〇〇〇〇		〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	
妻		海上 花子			
都道府県		〇〇〇〇〇〇	電話番号	〇〇〇〇〇〇	
市町村番地		〇〇〇〇〇〇	メールアドレス	〇〇〇〇〇〇	
マンション・アパート名		〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	
〇〇〇〇		〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	
子		海上 一太			
子		海上 二子			
父		海上 守			
都道府県		〇〇〇〇〇〇	電話番号	〇〇〇〇〇〇	
市町村番地		〇〇〇〇〇〇	メールアドレス		
マンション・アパート名					
〇〇〇〇		〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	

部隊と家族間の
連絡体制を整備

家族相談窓口の設置



災害等には相談窓口が
安否確認を実施

部隊から隊員家族と連絡が取れる態勢を確立するため、留守家族名簿を整備するなどして、部隊からの情報発信・交換を通じて隊員及び隊員家族に安心してもらいます。

なお、留守家族名簿の情報は、目的外に利用いたしません。

(2) 家族に海上自衛隊を信頼してもらうための取組

部隊新聞・家族のしおり



WEB等を活用した情報発信



(3) その他の取組

緊急登庁支援



災害等対処のため、子供を帯同して登庁せざるを得ない隊員に対して行います。

状況により、基地内、又は基地外に子供預かり所を開設します。

登録は、1歳から小学校卒業までの幼児または児童です。

基地への問い合わせ等

- (1) 家族支援窓口岩国航空基地では、家族支援窓口を設置して隊員ご家族の皆様からの各種お問い合わせに対応しております。隊員の留守中などに不安を感じたり、困ったことがあれば、家族相談窓口へご相談ください。



岩国航空基地家族支援窓口が
隊員ご家族の皆様をサポートします。
(平日08:00～16:45)

担 当：岩国航空基地隊厚生隊厚生班
電 話：0827-22-3181
(内線6482・6265・6266)



(2) 基地への立入について

**DBIDS (Defense Biometric Identification System)
カードによる立入り**

岩国航空基地勤務の自衛官の配偶者及び子供に限り、米軍への申請によりDBIDSカードが交付され、基地への立入りが許可されます。なお、10歳未満のお子様はDBIDSカードの発行ができません。DBIDSカードを発行されている隊員もしくはDBIDSカードの発行をされている配偶者と一緒に立入りすることになります。

DBIDSカードの取得を推奨します！

岩国航空基地内で実施するご家族向けイベントへの参加や、急きょ隊員と面会する必要が生じた際には、DBIDSカードがあると非常に便利です。また、部隊がご家族の皆様をサポートする上でも、DBIDSカードを取得していただくことにより、素早い対応が可能となりますので、是非ともDBIDSカードの取得をご検討ください。



申請手続きの細部は、隊員に相談するか、所属部隊のDBIDSカード担当者にお問い合わせください。

※規則によっては、許可できないことがあります。

※「海上自衛隊家族証」では入門できません。ご注意ください。「海上自衛隊家族証」についてのお問い合わせは、前ページの家族支援窓口までご連絡ください。